

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業も持ち直しの兆し (05年7月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：05年7月21日 (木)

～受注が小幅改善にとどまっていることから目先緩やかな拡大が見込まれる～ (No. UI-072)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
04/07	35.5	34.2	39.7	3.2	22.9	14.8	17.2	33.8	50.2	▲ 16.4	37.6
04/08	29.2	23.2	32.8	1.8	20.0	▲ 5.8	3.9	33.6	54.3	▲ 20.7	50.3
04/09	15.9	26.8	25.4	2.7	22.9	2.9	2.8	34.6	56.7	▲ 22.1	43.6
04/10	27.2	23.5	26.5	2.4	15.0	0.3	▲ 2.2	33.2	57.2	▲ 24.0	27.8
04/11	19.7	20.8	21.4	▲ 4.2	15.4	▲ 2.9	▲ 1.8	30.3	55.4	▲ 25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	▲ 4.5	14.0	▲ 1.1	3.0	21.1	53.8	▲ 32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	▲ 2.7	17.0	▲ 3.2	▲ 5.2	24.7	66.1	▲ 41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	▲ 7.4	12.3	7.1	▲ 2.8	24.6	43.5	▲ 18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	▲ 5.3	10.1	3.5	▲ 2.1	15.3	29.7	▲ 14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	▲ 3.8	28.0	50.5	▲ 22.5	27.5
05/05	7.3	15.0	14.9	2.0	5.4	0.5	▲ 0.1	15.7	30.9	▲ 15.2	22.3
05/06	▲ 2.2	2.5	6.6	▲ 0.4	7.1	▲ 13.2	▲ 19.0	8.1	23.5	▲ 15.4	30.6
05/07	9.6	5.0	12.4	▲ 10.9	3.4	▲ 1.9	▲ 9.2	12.0	26.5	▲ 14.5	15.3

(出所)フィラデルフィア連銀

+9.6と前月から 11.8ポイント上昇

05年7月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+9.6と市場予想の+10.0を下回ったものの、11.8ポイント上昇した。7月にはNY連銀製造業景況指数がプラス幅を拡大し、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がプラスに転じたことから米国景気に対する楽観的な見方が強まった。

この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要がある。同ベースでの総合指数は、同地区製造業部門が緩やかな鈍化傾向を辿っていることを示している（2Pグラフ参照）。さらに、新規受注指数が小幅な上昇にとどまっていること、現状判断に先行する半年後の景況感を示す指数が大幅に低下していることから、8月以降の拡大ペースが緩やかなものになることを示唆している。

個別には生産拡大を 示唆

個別にみると、新規受注・出荷のプラス幅拡大、在庫指数のマイナス幅拡大といった動きから、目先同地区の生産拡大が見込まれる。インフレ面では、仕入れ価格、販売価格が上昇したものの小幅なものであり、インフレ圧力が弱まっていることが示された。収益性では、販売価格、仕入れ価格ともに同程度プラス幅が拡大したため、交易条件は前月からほとんど変化していない。このような中、雇用指数が+3.4と低下した一方、労働時間は+6.0とプラス幅が拡大していることから、同地区製造業では経済活動の持ち直しに労働時間の拡大で対応している。

現状に先行する半年後の景況感に対する楽観的見方が後退

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+15.3と6月の+30.6から大幅に低下していることから、経営者の楽観的な見方が大きく後退している。

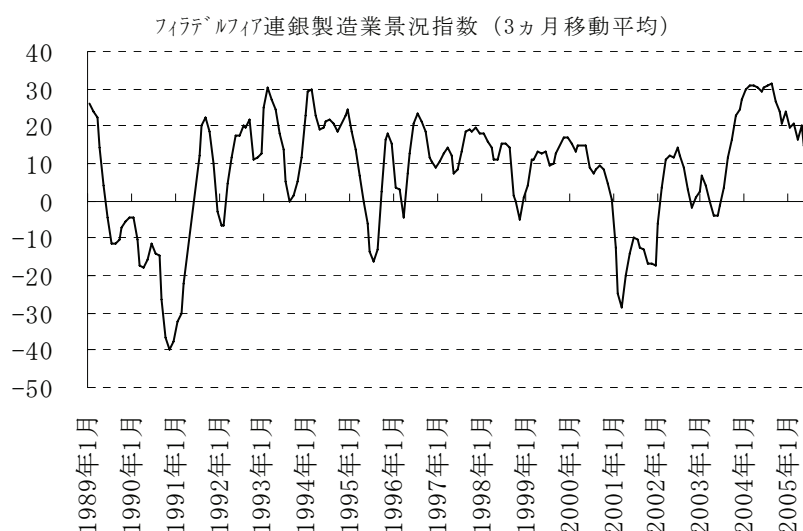
半年後の収益環境では、仕入れ価格の大幅な上昇を見込んでいる一方で、販売価格のプラス幅が縮小しており、交易条件の大幅な悪化を予想している。このような見通しのもと、半年後の労働時間がマイナスに転じ、雇用も+5.5(6月+21.4)とプラス幅が低下していることから、雇用の伸び悩みを示唆している。さらに、在庫のマイナス幅が大幅に拡大するなど引き続き在庫の削減を予想している。以上のように、競争が激化するなかで投入コストの上昇圧力が強い状況が予想されており、今後も企業はコスト削減を積極的に進める方針とみられる。

半年後の設備投資見通しは、+12.3と6月の+19.9から低下していることから、同地区製造業での設備投資の鈍化が示唆された。

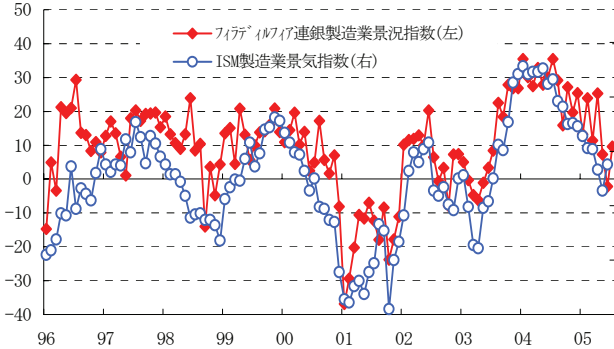
先行きに関しては、在庫の削減、受注・出荷の縮小、交易条件の大幅な悪化、雇用の削減が見込まれており、先行きの楽観的な見方が大幅に後退している。

ISM製造業景気指数は前月から小幅低下の可能性

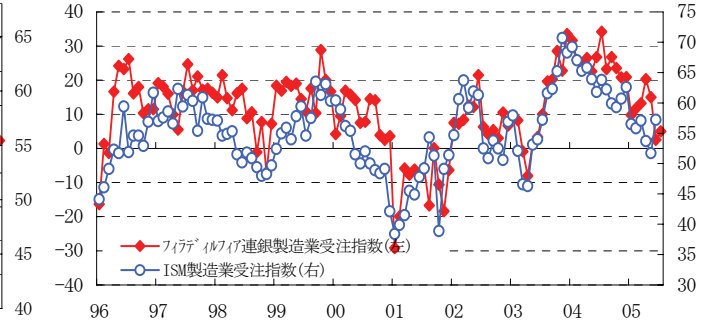
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。7月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がともに前月から上昇したことから、7月のISM製造業景気指数の上昇が示唆されている。しかし、6月に反対の動きをしたことから、7月のISM製造業景気指数は6月の53.8から53.0程度へ低下が見込まれる。



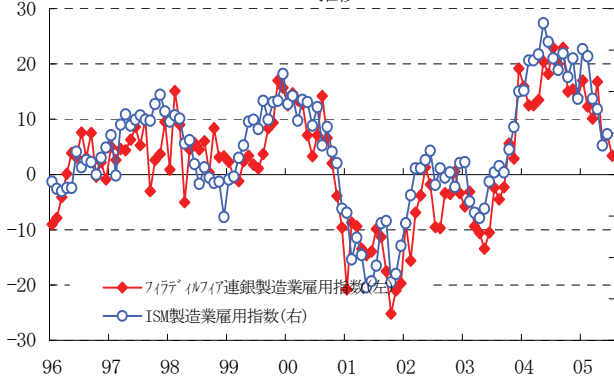
フィアテ[®] NY連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



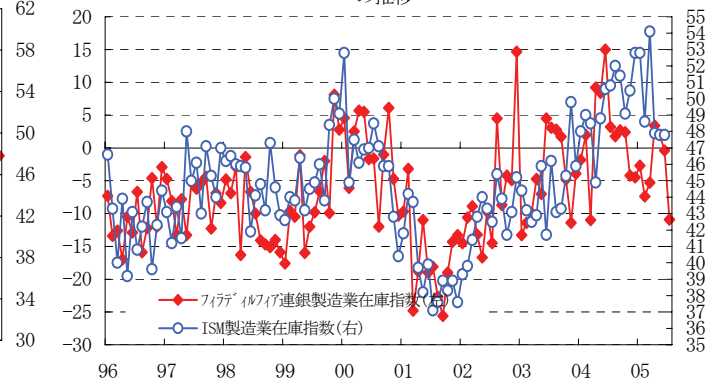
フィアテ[®] NY連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



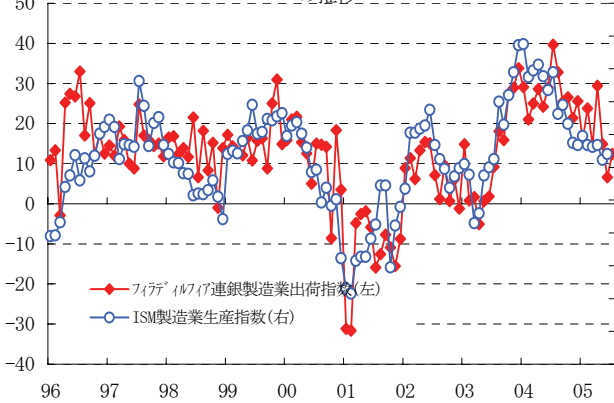
フィアテ[®] NY連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



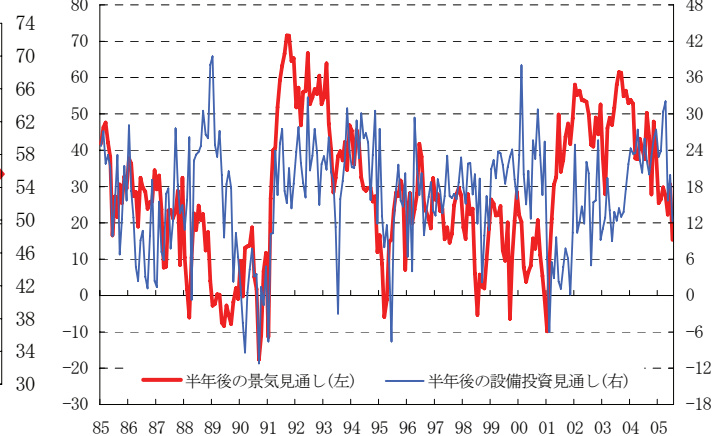
フィアテ[®] NY連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



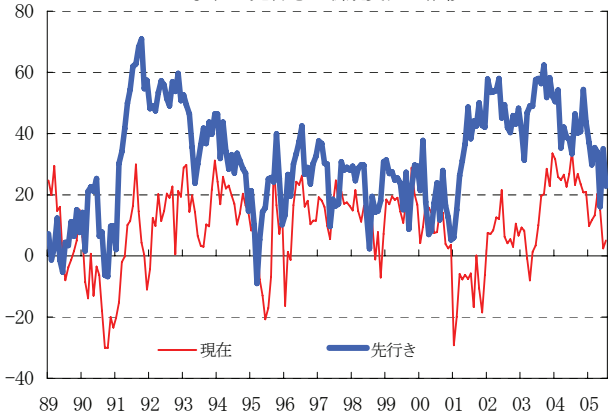
フィアテ[®] NY連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



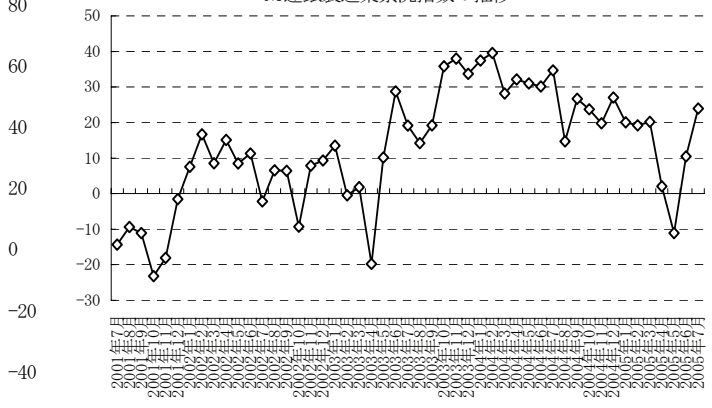
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。